

来週の『売り物』記事はこれ



2015年8月14日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

えん罪の戦犯容疑者 元日本兵の遠い終戦

16日(日)



終戦直後のフィリピンでは、「SATO」や「WATANABE」など日本人に多い名字を持つために人違いされ、無実の罪で裁かれそうになった日本兵の捕虜が少なくありませんでした。「非武装の民間人を殺した」などの戦犯容疑をかけられ、レイテ島の収容所で受けた「首実検」の恐怖。



モンテンルパ収容所で処刑場から響く銃声におびえ続けた元兵士もいます。さらに「お前の容疑は晴れた」と言われながら拘束が解かれず、巣鴨拘置所に移されて「誰にも知られぬまま処刑されるのでは」と気が狂いそうになった人もいます。心に受けた傷は暗い淀みとなり、戦後も消えることはありませんでした。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

あの人が生きていたら何を語るだろう

連載 「会いたい 戦後70年の夏に」

夕刊2面特集ワイド 17日(月)～21日(金)



先週から続けている連載の後半5回です。戦後70年を迎えたこの国は、政治、経済、社会などあらゆる分野で解決困難な課題を抱えています。いずれも日本の将来に大きな影響のある課題ばかりですが、もし「あの人」が生きていたら何を語るでしょうか。故人を知る方々を訪ね、残された珠玉の言葉もたどりながら考えます。後半では作家の有吉佐和子さん、経済学者の都留重人さん、作家の小田実さん、政治家の市川房枝さん、SF作家の星新一さんを取り上げます。

先週から続けている連載の後半5回です。戦後70年を迎えたこの国は、政治、経済、社会などあらゆる分野で解決困難な課題を抱えています。いずれも日本の将来に大きな影響のある課題ばかりですが、もし「あの人」が生きていたら何を語るでしょうか。故人を知る方々を訪ね、残された珠玉の言葉もたどりながら考えます。後半では作家の有吉佐和子さん、経済学者の都留重人さん、作家の小田実さん、政治家の市川房枝さん、SF作家の星新一さんを取り上げます。

「西原理恵子のおかん飯」 おんなのしんぶん 16日(日)

漫画家の西原理恵子さんが、料理家の枝元なほみさんに料理の手ほどきを受ける人気コーナー。今週は「冬瓜カレー」。夏が旬の冬瓜と、食欲を刺激するカレーとのコラボ。ヘルシーであっさり味の一品です。まだまだ暑い日が続きます。ぜひ、お試しください。好評の動画もお見逃しなく！



ガラスの天井・第3部

くらしナビ 19日(水)から



「男女平等」「男女同権」がうたわれる新憲法が制定されて70年近くがたちます。しかし、共働き家庭が半数を超えるようになってなお、「男は外で働き、女は家庭を守る」といった男女の固定的な「性的役割分担(分業)意識」は、私たちの中にすり込まれています。私たちは何にとらわれているのでしょうか。この意識を乗り越える方法はないのでしょうか。現状から探ります。

食・酢×豚で夏を乗りきる

くらしナビ 18日（火）

暑さが続き、疲れもたまってきます。こんな時は酢と豚肉を使った料理がぴったりです。酢に含まれるクエン酸、豚肉に含まれるビタミンB1は、どちらも疲労回復効果が高いからです。今回は、揚げない酢豚、豚しゃぶとサーキュウリのマスタードあえ、みょうがのピクルスぶっかけうどんの3品を紹介します。ぜひ試してみ、残暑を乗りきってください。



特集 改正臓器移植法 5年

特集面 16日付



15歳未満の小児からの脳死臓器提供や、本人が拒否していなければ家族の承諾で臓器提供を認める改正臓器移植法が全面施行され、17日で5年になります。国内での移植機会を増やす目的でしたが、死後に臓器提供する人は改正後も増えていません。15歳未満の提供も7例です。移植・提供の当事者、医師への取材や、関連データを分かりやすくまとめて紹介します。

平和企画 「日米安保の現場」

連載～朝刊社会面 18日（火）から

戦後日本の繁栄を支えてきた安全保障体制を根底から変える安保関連法案が、国会で審議中です。国民の間で法案への賛否が割れるなか、日米安保の現場を記者たちが歩き、法案成立で自衛官や国民のリスクが高くなることはないのか、国会は十分に審議を尽くしているのか、考える材料を提供します。現在、アフリカのジブチ、南スーダンに派遣されている自衛隊の現地からも記者が報告します。



身近から始まる「政治」

朝刊文化面 22日（土）



批評家の若松英輔さんが各界の識者で行う対談「理想のかたち」のゲストは、発達障害や不登校の子供の支援などに取り組むNPOの代表理事、白井智子さん＝写真＝です。白井さんは東京大卒、松下政経塾出身。安全保障関連法案に対する国民の理解が進まない中、二人は身近な人との交流から始まる、選挙や議会に限定されない「政治」のあり方を語り合います。

毎日小学生新聞

毎日小学生新聞の売り物

記事はこれ！

戦後70年 毎日小学生新聞では、さまざまな企画をお伝えしてきました。終戦記念日を迎えた8月15日、安倍総理大臣の「戦後70年談話」が発表されました。18日（火） 毎小では毎日新聞論説委員の人羅格さんが「戦後70年談話」を子ども向けに、わかりやすく解説します。19日（水）は「今からでも間に合う自由研究」。新聞を使ったビーズで作るアクセサリ工作を紹介します。20日（木）は、広島土砂災害から1年です。小学生と幼児の息子さんをなくした遺族と、毎小がきっかけで始まった福岡県の小学校との交流、この一年を描きます。21日（木）は人気コラム「パッケンのAre You a 国際人」。絶妙なギャグを織り交ぜつつ、なるほど納得の内容です。